

新潟開港 150 周年記念事業 水と土の芸術祭 2018 実施計画（案）の概要

1 基本理念

私たちはどこから来て、どこへ行くのか
～ 新潟の水と土から、過去と現在（いま）を見つめ、未来を考える ～

2 目的

- 「水と土の文化創造都市」の推進
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた新潟市の文化プログラムの主要事業として、世界へ新潟市をアピールするとともに、北東アジア文化交流拠点都市につなげる。
- 新潟開港 150 周年の主要事業に位置付け、「みなとまち」としての魅力向上につなげる。

3 会期

2018 年（平成 30 年）7 月 14 日（土）～10 月 8 日（月・祝） 計 87 日間

4 会場

- メイン会場：「万代島旧水揚場跡地」
- サテライト会場：「新潟市芸術創造村・国際青少年センター（旧二葉中学校）」
- その他、市内全域で各プロジェクトを展開する。

5 事業

主な事業	概要
市民プロジェクト	市民自らが企画・運営するイベントやプロジェクト等 (新規) 地域拠点プロジェクト：アートを活用して地域の課題に取り組む活動拠点づくりを支援
こどもプロジェクト	次代を担うこども達の創造性を育む事業 ・アーティストによるワークショップ ・各区と連携したワークショップ ・ワークシート
アートプロジェクト	アーティスト等を招へいし、新潟の地勢的な成り立ちや暮らし文化に深く根差した芸術性の高い作品を制作・展示 40 作家・40 作品を予定（アール・ブリュットなどへの取り組み含む）
シンポジウム	芸術祭の取り組みと連動したトークイベント等 テーマ：自然との共生 ・シンポジウム（会期前 2 回、会期中 2 回 計 4 回） ・トークイベント（会期前 2 回、会期中 3 回、計 5 回）
にいがた JIMAN	食」や「農」・「伝統芸能」など、新潟市の誇る豊かな文化を広く PR ・食や農の魅力発信 ・伝統芸能等のイベント など

北区について

○ 市民プロジェクト（2 月上旬採択決定予定）

- (1) 対象事業 会期中に、新潟市内で開催し、市民の皆様が自主的に企画運営する「水と土」等をテーマとしたプロジェクト。

<新規> 地域拠点プロジェクト
アートを活用し地域の課題に取り組む活動拠点づくりを重点的に支援

- (2) 採択件数 110 件程度（うち、地域拠点プロジェクトは 10 件程度）
(3) 助成額 事業にかかる助成対象経費の 5 分の 4 で、1 事業につき上限 50 万円
※ただし、地域拠点プロジェクトに該当する事業については、助成率及び上限額を超えて助成する場合があるため応相談。

○ こどもプロジェクト

- 実施内容 a. アーティストによるワークショップ
・市内の小・中学校教員がコーディネーターとなり多彩なワークショップ（音楽やダンス、絵画など）を夏休みや週末を中心に実施。
・コーディネーターとなる教員の学校でアーティスト出張型の研修授業などを実施。
b. 各区と連携したワークショップ
市内全区でそれぞれ地域の特色を生かした様々なプログラムを展開。多くのこども達が芸術祭を身近に感じられるようにしていきます。

[北区メガ盛り満福！ワイルド炊飯・自然創作体験プログラム]
海辺の森と福島潟ほとりの菱風荘をシャトルバスの運行で行き来し、1泊2日を実施。
海辺の森では、松の幼木や松ぼっくりなどの“宝探し”、こどもも栽培できるミニ盆栽創作やバーベキュー、伐採の対象である「ニセアカシア」を活用してウッドコースターを作成。福島潟では、潟船体験や潟に自生するヨシを使った和紙すき、また外来植物（セイタカアワダチソウ）等の駆除体験で刈った植物から色素を絞り出し、夏の風物詩をデザインした絵手紙を創作。
完成した作品は、福島潟自然文化祭で展示を行う。

○ 食と農

- ・新潟の食材を利用した「オリジナルメニュー」を提供
- ・「食べる」だけでなく、農産品等の販売・収穫体験など、様々な角度から新潟の「食」の魅力を発信 など

○ 伝統芸能等のイベント

地域の伝統芸能や和を感じる芸能演目などを発表するイベントを実施

○ ツアー

作品鑑賞や地域の魅力を楽しめるツアーを実施。
(地域拠点プロジェクトの会場、各区の地勢的特徴のある場所、食の提供など)